

秋季全国火災予防運動～消火器の点検をしましょう～

参考:「消防用設備等点検報告を自ら行っていただくために」(消防庁) (https://www.fdma.go.jp/mission/prevention/items/prevention001_18_tenken_pamphlet.pdf)を加工して作成

2021年は11月9日から15日までの7日間が、秋季全国火災予防運動の期間となります。これを機に消火器の点検を行ってみましょう。消火器はメーカーや型式によって、安全栓や本体の表示などが異なります。説明書等を参照しながら点検を行ってください。

1 表示

「製造年」を確認しましょう。

「製造年」から**5年**を超えていない

はい
いいえ

自ら点検を実施

本紙記載の点検に加え消火薬剤、消火器内部の点検が必要です。
・消防設備業者等に依頼する
・消火器を買替える等

製造年 2019年

2 本体容器

変形・損傷や消火剤の漏れなどありませんか?

●溶接部の腐食・サビに注意

●この腐食・サビを要チェック

×底部の腐食 ×著しい腐食 ×消火薬剤の漏れ

3 安全栓の封

破れたり、はがれたりしていませんか?

安全栓
安全栓の封
指定圧力計
レバー支え

○封紙良好 ×封紙の破損

4 安全栓

変形や損傷なく、しっかりと装着されていますか?

×安全栓の抜けかけ ×安全栓の脱落 ×レバー支えの脱落

5 使用済みの表示装置

使用済になっていませんか?

【例】 封 閉 可 LOCK OK 6000 可 封

○未使用状態 ×使用済になっている

6 レバー

変形や損傷がありませんか?

●変形していると握り込めず、いざという時に使用できません。

×変形 ※使用済みの表示装置がない機種もあります。

7 キャップ

しっかりと締まっていますか?

●粉末消火器は特に注意しましょう。

×キャップの破損 ×キャップの劣化

8 ホース

変形・損傷・老朽化・内部の詰まりをチェック! 本体にしっかりと接続されていますか?

●ホースのヒビに注意しましょう。
●ゴムの劣化に注意しましょう。

×緊結ネジの破損
×ホースの脱落

ホースの点検方法
たわませてホースの状態をチェック

9 ノズル・ホーン※・ノズル栓

変形・損傷・老朽化・内部の詰まりをチェック! ホースとしっかりとつながっていますか?

●ノズル栓にはさまざまなタイプがあります。

○ノズル及びノズル栓
×ノズルの破損

ノズル栓ゴム栓タイプ

※ホーンとは二酸化炭素消火器などのガス系消火器に使われている独特のラッパみたいな形状のノズルのこと

10 指示圧力計

指示圧力値は緑色範囲内ですか?変形・損傷などありませんか?

○指示圧力値良好 ×指示圧力値不適 ×指示圧力計の損傷

消火器を廃棄するには?

消火器の引き取りを行う特定窓口については、主に消火器の販売代理店や防災・防犯事業者が担当していますので、インターネットで、「消火器リサイクル窓口」について検索してください。なお、リサイクルシールが貼付された消火器については、既にリサイクル料が支払われていますので、廃棄の際に改めてリサイクル料を負担する必要はありません。(別途運搬・保管費用が必要な場合があります。)

レンタルのニッケン

ホームページでも最新情報をお届けしています。是非ご覧ください。

レンタルのニッケン 検索 **メルマガ配信中!**

安全ニュースで取り上げて欲しい題材やご意見ご要望などがございましたらeメールをご活用ください

e-mail: nikken@rental.co.jp

安全ニュースのご活用についてお願い

- 弊社は皆様の、安全作業に関するよりよい情報をご提供するため、安全ニュースの製作・配布に取り組んでいます。下記、ご理解いただき、ご活用いただけますようお願い致します。
- 安全ニュースの一部または全部において、個人・法人を問わず、弊社および引用先(各種団体など)の許諾を得ずに、いかなる方法においても、営利目的にて、無断で販売・複写・複製・貸借・加工・加筆および、公衆送信(インターネットやそれに類した送信)などを利用して提供することを禁じます。
 - 弊社は、本紙の内容において如何なる保証も行いません。
 - 本紙内容にて発生した障害および事故についても、弊社は一切責任を負いません。

●レンタルのニッケン

公式 Twitter

はじめました!!

フォロー宜しくお願ひします!

レンタルのニッケン -Safety News- 安全ニュース

2021年 11月号 NO. 239

株式会社レンタルのニッケン
編集・発行
安全技術部 / 営業企画部
お問い合わせ
TEL.03-5512-7411
発行日
2021年11月1日



特集 土木の日

- 土木工事における労働災害発生状況(2020年)
- 土木関連機器紹介
- ICT施工について
- 秋季全国火災予防運動～消火器の点検をしましょう～

2021年 12月号の予告

建設業年末年始 労働災害防止強調期間

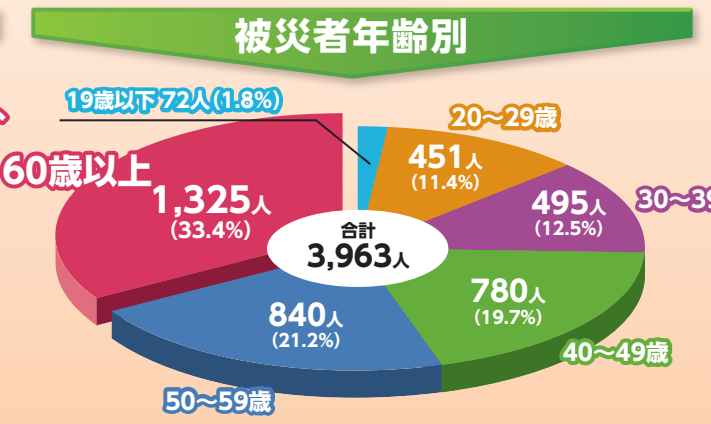
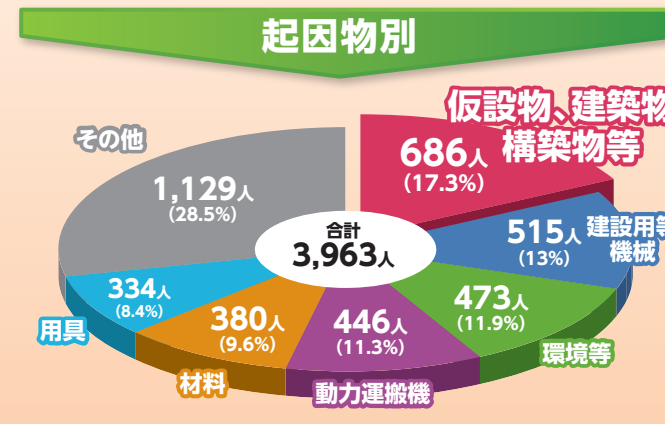
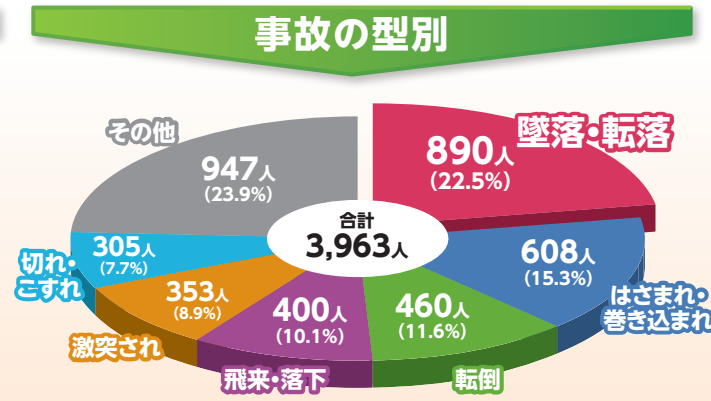
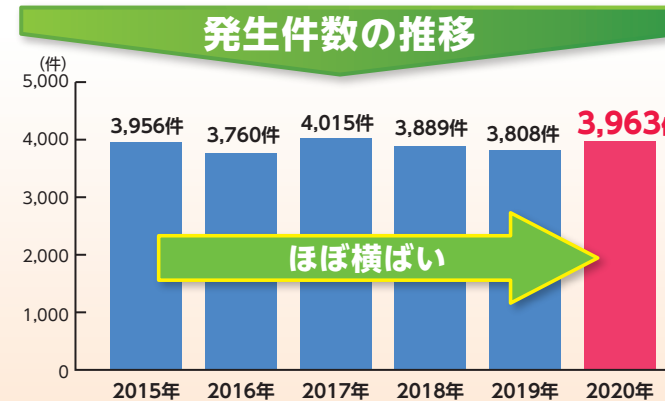
11月18日は土木の日です

漢字の「土」「木」の2文字を分解すると「十一」と「十八」になること、土木学会の前身である「工学会」の創立が1879年11月18日であることに由来し、関係諸官庁および諸団体の支援を得て、この日が「土木の日」と制定されました。また土木学会では、11月18日から創立記念日である11月24日までの1週間を「くらしと土木の週間」とし、各種イベントを含めた特色ある活動を展開しています。

十一月 十八日

参考:「労働災害分析データ」(中災防)を加工して作成。

土木工事における労働災害発生状況(2020年)



今月の **急激な運転操作を行うべからず(ユンボ編)**

ユンボの運転操作では周囲の作業員などに注意し、安全を考えて急激な運転操作は行わないでください。



- 注意!**
1. ユンボの運転席からは比較的視界が悪く、急激な走行や旋回によって重大事故につながる恐れがあります。機械を動かすときは、周囲の状況を確認し、安全を確かめてから動かしてください。
 2. 運転中は、「わき見運転」ちょっとした「油断」や「操作ミス」が事故につながります。十分注意して操作してください。
 3. 操作方法(パターン)の変更可能な機種もあります。操作パターンは使用前に都度確認が必要です。

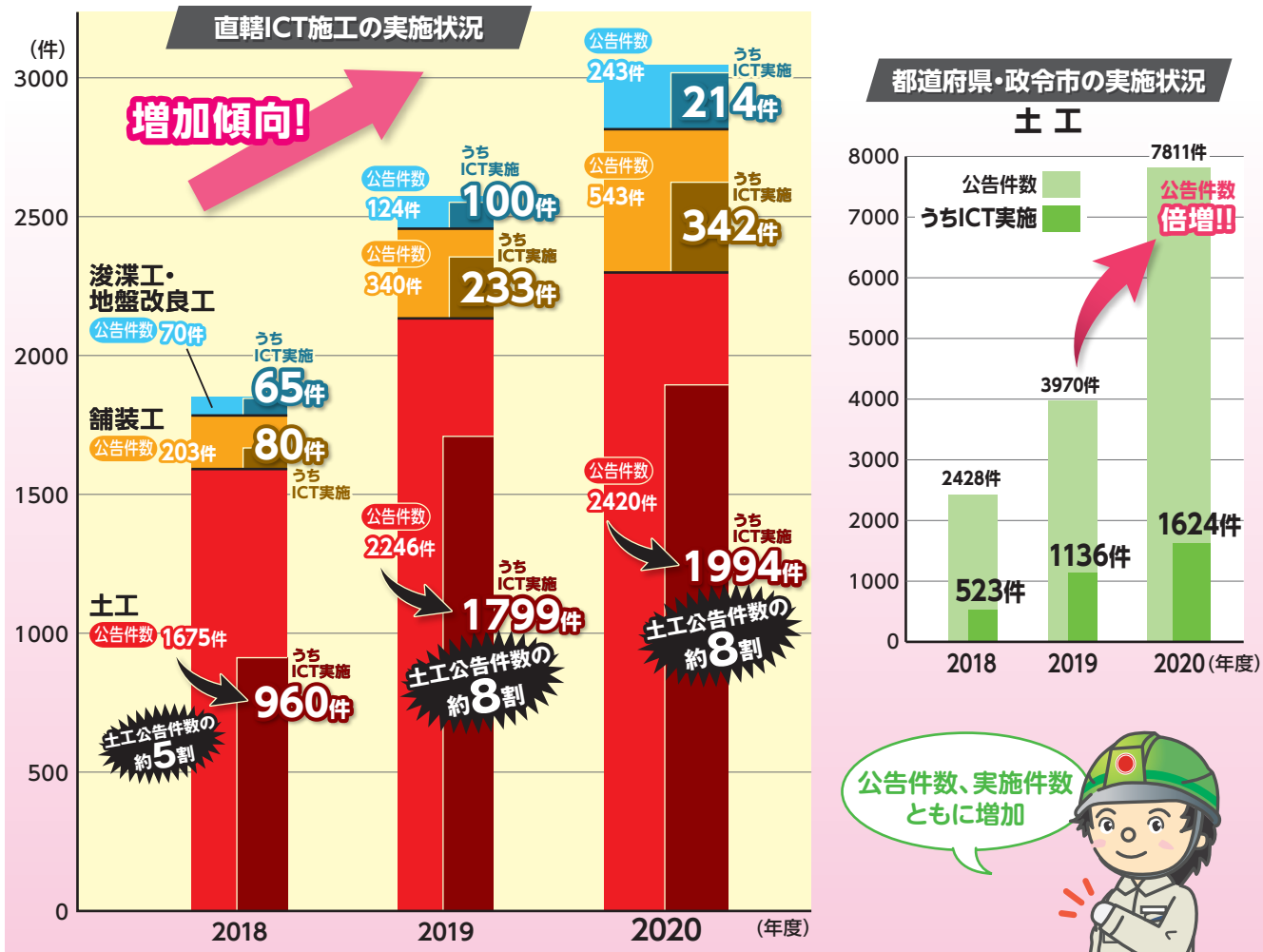
★ ホームページにも掲載しております!是非ご覧ください。★

ICT施工について

参考:「ICT施工の普及拡大に向けた取組」(国土交通省) (https://www.mlit.go.jp/common/001415324.pdf)を加工して作成

土木工事におけるICT施工の実施状況

ICT 施工とは、調査・設計・施工・維持管理・修繕の生産システムにおいてICT (情報通信技術) を全面的に活用する工事のことです。ICTを施工に適用して多様な情報の効率的な活用により、工程全体の生産性の向上や品質の確保等を図ります。



参考:「災害復旧等の迅速化・効率化に関するICTの活用」(国土交通省) (https://www.mlit.go.jp/river/bousai/hukkyu/pdf/00-index-ict.pdf)を加工して作成

災害復旧等の迅速化・効率化に関するICTの活用

災害緊急調査等における課題

- アナログ方式、人海戦術による調査
- 道路寸断により移動手段が限定され、被害の全容把握に時間を要する
- 二次災害の危険性
- 写真・スケッチが主体であり、精度が悪い
- 復旧事業には、再度、詳細調査が必要

ICT活用による効果

- 現地計測時間 (外業) の短縮 (時間・人員のコストダウン)
- 被災直後の詳細測量により実施設計、施工までの必要な情報を取得
- 短時間の広範囲測量により、机上にて復旧計画検討が可能

様々な技術の組み合わせ

航空レーザー測量、UAV測量、3Dレーザースキャナー測量、水中3Dソナー-UAVによる測量成果、マルチビーム測量、水中3Dソナー測量、MMS測量

[ICT活用による測量イメージ] UAV (Unmanned Aerial Vehicle: 小型無人飛行機) MMS (Mobile Mapping System: 車両搭載型計測機)

土木関連機器紹介

情報提供元: ランドログ (株式会社EARTHRAIN) 様

レトロフィットキット 後付けで油圧ショベルの3Dマシンガイダンスを実現

従来型建機に後付けすることで、ICT建機と同程度^{※1}の機能を利用可能とします。建機の効率化により、これまでよりも大幅に納期を短縮させながら、安全性・品質の向上にも貢献し、かつi-Construction指定工事にも対応可能になります。

^{※1} 国土交通省i-ConstructionのICT活用工事におけるICT建機に必要とされる機能

特徴

1. i-Construction工事に対応可能
国土交通省が推進するi-ConstructionのICT活用工事において、ICT建機として利用可能。
2. ICT機能を簡単に導入
装着してすぐにICT施工が始まります。
3. 3D-マシンガイダンス機能による省力化を実現
4. 3D施工履歴データ取得可能
5. バケットで積込む土の重量を計測 (ペイロードメータ) (オプション)
オペレータがダンプへの積込量を把握できるため、最大積載量に合わせて積込むことができ、現場の生産性向上に寄与します。

基本キット主要機器概要

- GNSSアンテナ
- タブレットセット (タブレット)
- Wi-Fiルーター
- アームIMUセンサ
- ブームIMUセンサ
- バケットIMUセンサ
- 油圧センサ (オプション)
- 本体IMUセンサ
- コントローラ

● GNSSアンテナ (車位置測定)
● IMUセンサ群 (加速度、回転、位置変化などの検出・計測をおこなう装置)
● コントローラ (3Dマシンガイダンスを実現するための演算装置・データ制御装置)
● 油圧センサ (オプション) 設置することにより、「土量計測」が可能

※ レンタルのニッケンはペイロードメータ標準装備

情報提供元: 酒井重工業株式会社 様

緊急ブレーキ装置 3Dセンサ検知による衝突回避の支援、衝突被害の軽減を目的とした装置

運転者の“まさか・うっかり”などのヒューマンエラー防止を補助する緊急ブレーキ装置 (後進用)

緊急ブレーキ 後方作業事故例

急な飛び出し

作業者に気付かない

特徴

NETIS 登録技術採用商品: HK-180024-VE

1. 昼夜問わず、車両速度に応じて適切なブレーキタイミングを自動判定
2. 視界不良でも人を検知
湯気や土ぼこりをできる限り対象物と見なさない技術

※ 車両速度が速い時は、キケン[※]の注意喚起を飛ばしてお知らせする場合があります。

危険です。ご注意ください。

ピピピピ...

緊急ブレーキが作動しました。前後進レバーをニュートラルに戻して、パーキングボタンを押してください。

適切な位置からブレーキ

緊急ブレーキが作動しました。前後進レバーをニュートラルに戻して、パーキングボタンを押してください。

安全距離で停車